

英語・リベラルアーツ専攻2年生の履修について

2年生の履修について説明します。確認のうえ履修登録をしてください。

目次

1. 科目区分と卒業に必要な単位数
2. 履修のルールについて
3. それぞれの科目区分の履修について

1. 科目区分と卒業に必要な単位数

外国語学部を卒業するためには、次の表に示すとおり、各科目区分の修得必要単位数を充たし、合計124単位以上の単位を修得する必要があります。

【表】 修得必要単位数

科目区分等		英語・リベラルアーツ
大区分	中区分	
専攻専門科目	基礎科目(A群)	32
	基礎科目(B群)	16
	上級科目(A群)	4
	上級科目(B群)	26
	(小計)	78
卒業研究科目		8
共通科目	外国語科目	4
	スタートアップセミナー	2
	データサイエンス科目	4
	道徳科目	4
	キャリア科目	4
自由選択科目		20
合計		124

2年生では、基礎科目(A群)、基礎科目(B群)、データサイエンス科目、道徳科目、キャリア科目、自由選択科目を中心に学習します。上級科目(A群・B群)、卒業研究科目は3年次から学びます。

3年次に「専門ゼミナール A・B」及び上級科目(B群)を履修するためには、2年次終了までに基礎科目の以下の単位数を修得していなければなりません。

基礎科目(A群):16単位
基礎科目(B群):8単位

2. 履修のルールについて

(1)各学期に履修登録できる単位数

各学期に上限24単位まで履修登録することができます(スタートアップセミナーは含みません)。また、集中講義科目や検定による単位認定で修得した単位も上限には含まれません。

(2)順次履修

基礎専門科目の必修科目や外国語科目は、順次履修といって、初級レベルのⅠから順に履修しなければならないというルールがあります。例えばドイツ語を選択した学生はドイツ語Ⅰ、ドイツ語Ⅱ、ドイツ語Ⅲ、というように段階的に履修します。

Ⅰの単位修得(成績評価がS~Cである)ができなければⅡは履修できません。Ⅱの単位修得ができなければⅢは履修できません。Ⅲ以降も同様です。

(3)仮進級

順次履修には「仮進級」という救済制度があり、成績評価がDの場合に限って、次の段階の履修を認めています。例えばⅠの成績がDの場合、仮進級で翌学期にⅡを履修することができます。仮進級後、Ⅱの単位修得ができれば、さかのぼってⅠも単位認定されます(これを「追認」といいます)。

仮進級後、Ⅱの単位修得に失敗した場合は、Ⅰ・Ⅱともに単位は認定されません。

3. それぞれの科目区分の履修について

用語の説明

区分…必修と記載されている科目は、必ず単位を修得しなければなりません。

単位数…修得できる単位数です。1単位の科目、2単位の科目、4単位の科目があります。

コマ数…1週間あたりの授業の回数です。週「1」の科目は週1回、「2」の科目は週に2回授業を受けます。

(1) 専攻専門科目

1・2年次では、基礎科目(A群)、基礎科目(B群)を履修します。

3年次に「専門ゼミナール A・B」及び上級科目(B群)を履修するためには、基礎科目の以下の単位数を修得していなければなりません。

基礎科目(A群):16単位、基礎科目(B群):8単位

① 基礎科目(A群)

1・2年次で合計32単位を取得します。各学期に3科目(8単位)の必修科目があります。

必修科目は順次履修です。2年次の1学期に基礎科目(A群)Ⅲ、2学期に基礎科目(A群)Ⅳを履修します。(1年次に基礎科目(A群)Ⅰ・Ⅱの単位を修得できなかった場合は、仮進級または再履修となります。)

基礎科目(A群)Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳは、各学期の必修3科目の個々の科目がすべて合格した場合に単位が認定されます(これを「一括認定」といいます)。

必修科目はクラス分けがあります。クラス分けは掲示により発表しますので、確認のうえ履修登録をしてください。

2年次 1学期				
科目名	区分	単位数	コマ数	備考
Research & Presentation Ⅲ	必修	4	2	順次履修 一括認定
English for Communication Ⅲ	必修	2	2	
Reading and Writing Workshop Ⅲ	必修	2	2	
Top Level English A/B/C/D	選択	1	1	

2年次 2学期				
科目名	区分	単位数	コマ数	備考
Research & Presentation Ⅳ	必修	4	2	順次履修 一括認定
English for Communication Ⅳ	必修	2	2	
Reading and Writing Workshop Ⅳ	必修	2	2	
Top Level English A/B/C/D	選択	1	1	

*Top Level English A/B/C/Dは必修ではなく、希望する場合のみ履修する科目です。TOEIC600点以上で履修することができます。希望者が定員を超えた場合は、抽選があります。

3年次に上級科目(A群)を履修するためには、基礎科目(A群)の必修科目の単位をすべて修得していなければなりません。ただし、基礎科目(A群)Ⅳの成績評価がDの場合に限って、第9条の規定に従い、仮進級による上級科目(A群)の履修が認められます。

②基礎科目(B群)

1・2年次で合計16単位を修得します。

2年次で履修できるのは、配当年次が「1」と「2」の科目です。

授業科目名に「A・B」等のアルファベットを含むものは、アルファベットの順によらず履修できます。

科目名	単位数	配当年次	コマ数	備考
グローバル・スタディーズ入門A・B	各2	1	1	
コモンウェルス研究入門	2	1	1	
イギリス研究入門	2	1	1	
Western Thought & Culture A・B	各2	1	1	
Introduction to Hospitality I・II	各2	1	1	順次履修
Introduction to UN Studies	2	1	1	
現代アメリカ文化・社会概説A・B	各2	2	1	隔年開講
英米文学概説	2	2	1	
History of Japan-U.S. Relations	2	2	1	
Advanced Hospitality Studies I・II	各2	2	1	順次履修
Advanced UN Studies	2	2	1	
Community Engagement Program A・B	各2	2	-	
海外留学基礎研究A～F	各2	2	-	

*Community Engagement Program A・B は、南イリノイ大学 CESL のプログラムを受講した際に単位が認定される科目です。

*海外留学基礎研究A～F は、留学による単位互換用の科目です。

(2)共通科目

各科目区分の決められた単位数を充たすように、履修してください。2年次や3年次から履修できる科目もあります。3年次から履修できる科目は履修案内の科目一覧を確認してください。

各科目区分で余分に修得した単位は、「自由選択科目」としてカウントされます。

①外国語科目

履修必要単位数 4 単位は同一言語で満たします。履修する言語は英語以外の言語とします。

1年次に必要単位数 4 単位を修得している場合は必修ではありませんが、各自の履修計画にあわせて履修してください。また、留学プログラムによっては、留学前に「〇〇語ⅢまたはⅣ」を修了していることが条件となる場合があります。

科目名	単位数	配当年次	コマ数	備考
中国語Ⅲ・Ⅳ	各2	1	2	順次履修
韓国語Ⅲ・Ⅳ	各2	1	2	順次履修
ドイツ語Ⅲ・Ⅳ	各2	1	2	順次履修
1年次で選択した言語以外の〇〇語Ⅰ・Ⅱ	各2	1	2	順次履修

*1年次に単位を修得していない場合は、〇〇語Ⅰ・Ⅱの再履修が必要です。

上記科目以外にも外国語科目を本格的に習得したい人のために設けられた特別クラス(〇〇語特別演習)や、夏セッション、春セッションに短期留学(海外語学研修)もあります。

②スタートアップセミナー

1年次に単位を修得していない場合は再履修が必要です。

科目名	区分	単位数	配当年次	コマ数	備考
スタートアップセミナー	必修	2	1	集中講義	1年次に修得済み

③データサイエンス

必修科目「情報リテラシー」(2単位)と、それ以外を合わせて4単位履修します。2年次から履修できる科目もあります。

科目名	区分	単位数	配当年次	コマ数	備考
情報リテラシー	必修	2	1	1	クラス分けがあります。
AI ビジネス入門		2	1	1	
統計学入門		2	1	1	
PC 実務演習		2	1	1	
情報技術活用		2	1	1	
マルチメディア活用		2	2	1	
Web オーサリング		2	2	1	
データ解析の基礎		2	2	1	

④道徳科目

2年次に必修科目があります。

科目名	区分	単位数	配当年次	コマ数	備考
道徳科学 A・B	必修	各2	2	1	

⑤キャリア科目

卒業までに、4単位を修得します。

科目名	単位数	配当年次	コマ数	備考
麗澤スピリットとキャリア	2	1	1	
キャリア形成入門	2	2	1	
グローバルキャリア研究	2	2	1	
キャリア形成研究	2	3	1	
キャリア形成演習	2	3	1	
基礎・学際演習 A・B	各2	2	1	
基礎・学際演習 C～F	各2	3	1	
インターンシップ A・B	各1	2	-	単位認定

(3)自由選択科目

卒業までに、合計 20 単位を修得します。

共通科目や他専攻・他学部の科目を履修した場合は、「自由選択科目」の単位としてカウントされます。

また、各科目区分で余分に修得した単位も、「自由選択科目」の単位になります。

以上